

リニューアルした「一番搾り」が好評！ リニューアル後^{※1}の4月販売数量は前年比約1割増と好調！ ～新しいおいしさで、4月の購入者数は直近一年間で最多^{※2}～

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）のフラッグシップブランド「キリン一番搾り生ビール（以下、一番搾り）」は、リニューアル後の4月月間の販売数量は前年比約1割増と好調に推移しており、好評をいただいています。缶商品の販売も好調で、家庭を中心に楽しまれるお客様からもご支持をいただいています。

※1 缶商品は1月製造品から、びん・樽商品は2月製造品から順次切り替え

※2 インテージSCI（20-79歳） 2022年5月～2023年4月

「一番搾り」は「おいしい好きのすべての人の今日のよろこびになる」ことを目指すブランドです。5月8日（月）には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行するなど、社会が明るい方向に進みつつある中で、「一番搾り」のおいしさで日本中にうれしさを広げ、コロナ禍で希薄になってしまった「人と人とのつながり」をつくり、ビールカテゴリーを活性化していきます。

■「一番搾り」好調要因

①さらに進化した飲みやすく飲み飽きない味わいが好評

今回のリニューアルでは、麦汁の仕込み工程を見直し、麦本来のうまみを引き出し飲みごたえを向上させ、雑味・渋みを抑えた飲みやすい後口を実現しました。お客様からは「麦芽のコク・苦味と、のどごしの良さがしっかりあっておいしい」「飲みやすく、後味が良くおいしい」といった好評の声が多く、高い味覚評価をいただいています。



②購入者数が増加

「一番搾り」がさらに進化したことを受けて、4月の購入者数は直近1年間で最多となり、多くのお客様に楽しんでいただいています。リニューアルしたパッケージには「一番搾り」で初めて“新”マークを缶の表面に記載し、4月20日（木）からは全国4都市でリニューアルした「一番搾り」を体験できる4年ぶりのリアルイベントを開催するなど、お客様との接点を拡大しています。

■「一番搾り」担当者コメント

キリンビール株式会社マーケティング部ビール類カテゴリー戦略担当 主査 中村早織

「一番搾り」は、本当においしいビールをつくらうという想いからスタートしました。コロナ禍を経て、改めて人と人とのつながりを大切に感じる今こそ、おいしいビールで皆さまの乾杯をもっとうれしく、笑顔溢れるものにしたい。そんな想いでおいしさに向き合い、磨き続けた結果、「一番搾り」が新しくおいしくなりました。やっぱりビールはおいしい、うれしい。「新・一番搾り」を、ぜひお楽しみください。



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|---|
| 1. 商品名 | 「キリン一番搾り生ビール」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 発売日 | 缶：2023年1月製造品より順次切り替え、
びん・樽：2023年2月製造品より順次切り替え |
| 4. 容量・容器 | 135ml・缶、250ml・缶、350ml・缶、500ml・缶、大びん、中びん、小びん、
慶祝ラベル中びん、7L・樽、15L・樽、20L・樽、3L・ペットボトル |
| 5. 価格 | オープン価格 |
| 6. アルコール分 | 5% |
| 7. 純アルコール量 | 350ml 缶：14g、500ml 缶：20g |
| 8. 製造工場 | キリンビール北海道千歳工場、仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、
滋賀工場、神戸工場、岡山工場、福岡工場 |

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>